

2022.2.27

ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会

akatsukanironso@gmail.com

赤塚公園
サービスセンター
03-3938-5715

編集責任：運営サポーター／木村



Since 1982 ニリンソウ保護活動 40 周年

赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

◆ニリンソウ月間直前的大門植物
観察会 3/13 10:00 大門観察台前集合

※月間向け資料をお配りします

◆ニリンソウ月間＝予定・準備中
3/19 (土) ～4/17 (日)

★手伝ってください！ 誰でも参加できます！

飛入り参加も歓迎！

落ち葉の下からニリンソウ の葉が姿を現しました



赤茶色を帯びた葉は地上に姿を現したニリンソウです。まだ葉緑素を蓄えていませんが、ここまでくると、もう林への人の立ち入りはできません。ニリンソウを傷付けてしまうからです。

ニリンソウは、これから日ごとに葉を伸ばし、3月の中頃には一面に緑の絨毯が広がります。さらに、花を咲かせると、緑の絨毯は真っ白に姿を変えて、観る人を魅了します。

ニリンソウだけが大事なのではありません。足元を見ればたくさんの野草が葉を伸ばして、もうすぐ花盛り！



←フラサバソウ
オオイヌノフグリ→
この2つは同じオオバコ科の仲間なのでよく似ています。フラ



サバソウは実際にはぐんと小型、葉裏も茎も細かい毛におおわれて寒い冬を耐えてきました。



←ヒメオドリコソウ
オドリコソウ→
この2つはシソ科の仲間、どちらもしわしわの葉。実際はヒメオドリコソウの方が小型で花も素朴ですが、可愛いです。



花が大型で見ごたえのあるオドリコソウは大門地区の東側に大群落をつくっています。

下の写真はミチタネツケバナ、大門交差点の車止めの下で咲いていました。街中では



咲いているホトケノザは大門ではまだ閉鎖花、カラスノエンドウは今にも咲きそう、ウシハコベはどこかで咲いているはず。ヘビイチゴ、ヤブヘビイチゴも新しい葉を広げ、秋の花のカントウヨメナも元気に葉を伸ばしていました。

自生地前・ロープ柵内の枯草を整理しました

2/27のニリンソウを守る会の例会は参加者11名。しつたり坂近くのハウチャクソウ群落での

ヤブニンジンの抜取りと擬木の外側、ロープ柵（生物多様性保全エリア）の枯草の整理作業を行いました。枯れ草の多くがヤブタバコですが、今年の新しい葉が地面から顔を出していました↓



このヤブタバコ、他では見られない珍しい野草です。

